

農作業特報

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

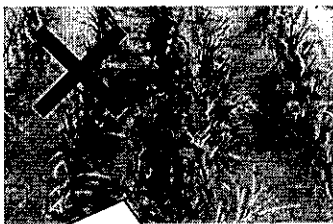
水稻の生育は平年よりやや遅れていますが、概ね順調に推移しています。今後は根量を増やし、過剰な分けつを抑えるため、「溝掘り・中干し」を始めましょう。

1 中干しに入る前に、確実に排水ができる溝を作る

中干しやその後の間断かん水を効率的に行うため、田植え後3週間頃を目安に溝掘りを行いましょ。

【溝掘りのポイント】

- ① 溝掘りの2～3日前に落水し、軽く干す。
- ② 乗用溝掘機（バイク型溝掘機や乗用管理機）を使う場合は、ヒタヒタ水程度に再入水する。
- ③ 溝掘り本数は5mに1本程度を目安とし、干しにくいところを重点的に掘る。
- ④ 枕地や外周に掘った溝と水尻を連結し、排水を促す。



土が軟らか過ぎて、溝が崩れている。

2 中干しは、田植え後4週間頃までを目途に開始する

【中干しの程度】

中干しは5～7日間程度行い、田面に小さな亀裂が入り、足跡がつく程度まで干しましょう。

過繁茂になりやすい水田
乾きにくい湿田

田面に大きな亀裂が入るまで強く干す

乾きやすい砂地の水田

一度に強く干さず、田面に小さな亀裂が入る程度まで干す

【中干しの効果】

- ① 土壌中の有害ガスを除去し、根の生育を健全にする。
- ② 過剰な分けつの発生を抑える。
- ③ 葉が立ち、稲の受光姿勢が良くなる。
- ④ 田面が硬くなり、コンバイン作業に備えることができる。

確実な中干しで効果を高めましょう！



足跡が付く程度

3 中干し後の水管理

しっかり田んぼが干せた後は、幼穂形成期頃（7月上旬頃）まで「間断かん水」を行いましょ。

4 エスアイ加里の施用

ケイ酸やカリは稲体や根の活力を高め、稲の受光体勢を改善し、下葉の枯上がりや軽減する効果があります。作付前に土壌改良資材を施用していない場合や基肥一発肥料を使用している場合は、追肥で補いましょ。

肥料名	施用時期	施用量
エスアイ加里特号	6月20日頃～	15kg/10a

5 後期除草剤の散布

初中期一発剤や中期剤の散布後も雑草が残った場合は、雑草の種類に応じた後期剤を散布しましょ。

【雑草が残った場合】

適用雑草	除草剤名	散布量	散布時期	注意事項
ノビエのみ	クリンチャー 1キロ粒剤	1.5kg /10a	田植え後 25日～ ノビエ5葉期まで (収穫 30日前まで)	5cm程度の深水にして散布し、その後7日間は止水管理とし、落水やかけ流しをしない。
	トドメMF乳剤	200ml /10a (100%に希釈)	田植え後 14日～ ノビエ7葉期まで (収穫 50日前まで)	落水散布を基本とするが、湛水散布も可能。散布後2週間程度の残効が期待できる。
広葉雑草	バサグラン粒剤	3～4kg /10a	田植え後 15～55日 ※クログワイは田植え後 15～35日まで (収穫 60日前まで)	落水し、田面が湿った状態で晴天日を選んで散布する。散布後3～4日間は水を入れない。イネ科雑草以外に効果あり。
ノビエや 広葉雑草	新ロイヤント乳剤	200ml /10a (100%に希釈)	田植え後 20日～ ノビエ5葉期まで (収穫 45日前まで)	落水散布またはごく浅水で散布または湛水散布。直播水稲にも使えます。
	新アレイルSC	500ml /10a (50～100%に希釈)	田植え後 25日～ ノビエ5葉期まで (収穫 45日前まで) 出穂始期 15日前まで	湛水散布または落水散布。

新クサネム対策にお勧め！

※この他の除草剤や初めて使用する除草剤については指導員等にご相談ください。



農業用水路の転落事故には気をつけて！！